

氏名	益 田 俊 樹		
学 位 の 種 類	医 学 博 士		
学位授与番号	乙 第 906 号		
学位授与の日付	昭和52月12月31日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)		
学位論文題目	皮膚における immune complex の沈着およびその動態		
論文審査委員	教授 大藤 眞	教授 小川勝士	教授 妹尾左知丸

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

horseradish peroxidase (HRP) を抗原とした家兎での active Arthus 反応および reversed passive Arthus 反応で、皮膚の immune complex (IC) の動態を光顕的に観察した。両反応において IC はペルオキシダーゼ反応陽性の褐色顆粒として血管壁とその周辺ばかりでなく、皮内注射する抗原あるいは抗体の量を少なくすることにより広く膠原線維間、基底膜下にも認められた。そして IC はまず単核細胞に、その後多核白血球に貪食されるなどして24時間後にはほぼ消失した。このような IC の動態に対する副腎皮質ホルモン、抗ヒスタミン、DDS の影響は顕著でないことを reversed passive Arthus 反応において明らかにした。抗原に ^{125}I を標識した数種の IC を皮内注射して血中への移行を検討した実験では、HRP を抗原とした可溶性 IC はすみやかに血中へ移行し、不溶性 IC は移行しなかった。一方、BSA を抗原とした不溶性 IC はゆっくりと血中へ移行するなど、その態度は IC の種類により異なった。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は皮膚における immune complex の沈着およびその動態に関する実験的研究であるが、従来十分確立されていなかった皮膚 immune complex の動態を家兎を用いて実験的に研究し、重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。